

FVI「声なき者の友」の輪
Friends with the Voiceless International



2025年 春号

URL : <http://www.karashi.net/>

『メネ、メネ、テケル、ウ・パルシン』

「人の子よ、ツロの君主に言え。【神】である主はこう言われる。あなたの心は高ぶり、

『私は神だ。海の真ん中で神の座に着いている』と言った。

あなたは自分の心を神のように見なしたが、あなたは人であって、神ではない。

(旧約聖書 エゼキエル 28:2)

『メネ、メネ、テケル、ウ・パルシン』という不思議な言葉は、当時の大国アッシリアの王ベルシャツアルが、神を冒瀆し、千人の貴族たちのために大宴会を催していた際に宮殿の壁に神の指によって書かれたものです。(旧約聖書 ダニエル5章) ダニエルという預言者が、この言葉の意味を解き明かし、神の前に高ぶっていた王に対してその治世の終わりを告げました。

預言者エゼキエルは、地中海沿岸で航海によって世界商業の一大中心地として繁栄していた町・ツロに対する裁きの言葉を述べています。ツロは岩礁島を自然の要塞として難攻不落を誇り、自分を神のように見なす「高ぶり」の罪を犯していたのです。

イスラエル王朝初代の王サウルに対して預言者サムエルが語った言葉は「従わないことは占いの罪、高慢は偶像礼拝の悪。あなたが主のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」(Iサムエル 15:23) でした。

私たちすべての心に潜んでいるものが「高ぶり」です。他の人と自分を比較して優越感を持つ、富や力を手に入れ自分の思い通りに物事が進んでいるように感じられる時、あたかも自分が「神」であるかのような錯覚に陥り、「高ぶり」が頭をもたげるのです。

「高慢」という偶像礼拝は、私たちを「裸の王様」にしてしまいます。しっかりと心を見張りましょう。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

*FVIの働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。